

# 皆実平和のメッセージ

今年も暑い夏がやってきました。

私たちの住んでいる今の広島市は、緑があふれ、平和な生活をすごしています。しかし、あの日の悲しい出来事をヒロシマから消すことはできません。

昭和20年、1945年8月6日午前8時15分。たった一発の原子爆弾によって、十数万人の尊い命が失われました。

それだけではありません。それから長い年月の間も、そして今も、原爆症や家族をなくした心の痛みに苦しんでいる人がたくさんおられます。

皆実小学校の周りにも、皆実町4丁目に残っているレンガ造りの建物についている原爆の爆風で曲がった鉄のとびらや、運動場にある被爆ヤナギの木など、今もあの日の出来事を伝えているものがあります。

広島に原子爆弾が落とされた時、この皆実小学校でも、私たちと同じ小学生や先生方が原爆によって亡くなりました。学校にあるいしぶみのくわしい名前は、『皆実小学校職員児童同窓生慰霊碑』というそうです。つまり、そのころの皆実小学校の子どもや先生、そして、卒業生の人で原爆で亡くなった人達のための慰霊碑です。今日のように、暑い日に命を失った先輩方たちを思いつくられました。

今、広島市に生きている私たちが平和のためにできることは、何があるでしょうか。

今日のいしぶみの集いのように、原爆で亡くなった多くの人たちに祈りをささげることも大切です。そして、広島や長崎でおこった恐ろしい出来事について、きちんと学び、戦争のない、恐ろしい核兵器のない平和な世界を作っていこうとする気持ちをずっと持ちつづけていくことが、とても大切だと思います。

いま せ かい ぼ しょ せん ぞう あら そ  
今、世界のいろいろな場所では、戦争や争いがおこっています。  
ちい こ いのち うしな  
小さな子どもたちの命もたくさん失われています。

ちか ころ に ほん ひと いのち かる かな ご けん  
近頃では、日本でも人の命を軽んじた悲しい事件があとをたちません。  
きょう つど せ かい かく へい き せん ぞう なに とうと  
今日のこの集いをはじめりとして、世界から核兵器や戦争がなくなり、何よりも、尊  
ひと いのち たい せつ へい わ せ なか こころ ねが へい わ たい せつ  
い人の命が大切にされる平和な世の中になることを心から願い、そして平和の大切  
さについて考え、平和を守っていきましょう。